



学生数/12400人  
学部/文、国際、心理、現代社会、法、総合政策、経済、経営、工、スポーツ科学  
大学院/文学、国際英語学、心理学、社会学、法学、経済学、経営学、工学、スポーツ科学  
THEインパクトランキング2021/1001+、同世界大学ランキング日本版2021/131-140位

CASE STUDY

# 高校から大学院をつなぐグローバル人材の育成 → 語学偏重のグローバル教育からの脱却

## 中京大学

2020年4月に既存の国際系学部を改組し留学必須の新学部を設置した中京大学。これから育成をめざすグローバル人材像と、新たな教育の取り組みについて聞く。



国際学部 学部長  
**佐道 明広**  
さどうあきひろ ● 1983年学習院大学法学部卒業。1989年東京都立大学大学院社会科学部政治学専攻博士課程単位取得。政策研究大学院大学政策研究プロジェクトセンター助教授、中京大学商学部教授、総合政策学部教授等を経て2020年より現職。

### 語学力と高度な専門性の両方を育成

これからのグローバル社会では、語学力に加えて「その語学で何を語るのか」に対する教育が求められます。そこで、2020年度に国際教養学部、国際英語学部を改組して設置した国際学部では、英語運用能力に加え、深い教養と高度な専門性を身に付けられるカリキュラムを組みました。リベラルアーツを重視しつつ、複数専攻制で幅広い専門性を身に付けられるようにしています。卒業所要単位を140単位と多くしているのも、それだけ多様な学修を求めていることの表れです。

国際学部の学生は2年次から専門コースに所属し、英語による授業も受けます。これに対応できるように、1年次春学期で英語力を徹底的に鍛え、秋学期で北米へのセ

メスター留学を必須としました。留学中は現地のELSでさまざまな国の学生と共に学びます。これは英語力の向上だけでなく、多様な文化を肌で感じ、必死に勉強する海外学生の姿から刺激を受けてほしいという狙いもあります。

残念ながら開設初年度は、コロナ禍により現地派遣を見送り、オンライン留学に置き換えました。これはマレーシアのELSとオンラインでつないで学修するもので、内容は現地留学と同様です。ただし、英語の授業を受けるだけでは異文化交流の機会が不足するため、現地学生とのミーティングやアクティビティといったコンテンツも盛り込んでいます。とはいえ、学生は現地留学を希望して本学に入学していたため、その期待に応えるべく、希望者向け留学プログラムを準備しています。コロナの感染状況が落ち着いたら、2022年2月から学生を送り出す予定です。

今回、必要に迫られて導入したオンライン留学ですが、国際学部以外の学生も利用できるプログラムとして残すことを検討中です。留学前の事前研修としての疑似留学体験や、留学後の英語力維持のための活用を考えています。費用にもリーズナブルなので、留学

を本格的には考えていないような学生にも広く利用されることを期待しています。

### グローバル教育の 高大接続の試み

今後しばらく、国際系の学部は学生募集に苦労すると思います。高校生の入学をただ待っているだけでなく、大学側から高校生にアプローチする必要があるでしょう。今、本学ではグローバル教育に力を入れている高校と連携し、高校の国際化教育に大学生がサポーターとして協力することを検討しています。

他方、大学院教育の強化も進めています。本学部では国際機関等で活躍する人材も育てたいのですが、こうした機関は修士、博士の学位がなければ応募すらできません。そこで、人文社会科学系統の研究科を再編して、国際学部の完成年度に合わせて、新たな研究科の設置準備に取りかかっています。

コロナ禍の影響はあるとはいえ、グローバル化が止まることはないでしょう。より複雑化し、多様化した社会課題に対応できる人材が求められるようになるはずですから。10年後、15年後を見据えた改革に取り組んでいくつもりです。

## ポストコロナに向けての取り組み

- ▶ 国際学部で実施したオンライン留学プログラムの全学展開を検討
- ▶ 高度な専門性を持ったグローバル人材の育成をめざして研究科を再編
- ▶ 語学やグローバル教育に熱心に取り組む高校との教育面の連携強化

### BEFOREコロナ

#### ▶ 1年次に北米へ Semester 留学

1年次秋学期にアメリカもしくはカナダへ留学し、現地のELSで他国の学生と徹底的に英語の力を磨く。

#### ▶ 複数の専門分野、言語、文化を学ぶプログラムの実施

選抜制 Honors Program (複数専攻制)、2言語習得プログラムなどを導入し、多様な社会で活躍できる力を育成。

#### ▶ 国際学部の完成年度に合わせて研究科の再編を検討

国際機関等で活躍できる人材の育成をめざし、人文社会科学系統の研究科の再編に着手。

### AFTERコロナ

#### ▶ オンラインを活用して1年次の Semester 留学を維持

2020、2021年度はマレーシアのELSとつないだオンライン留学を実施。希望者に後日、現地留学プログラムを用意。

#### ▶ コロナ禍にかかわらず、高度な専門教育を推進

2年次以降の分野横断的な学修、複言語・複文化の習得は引き続き推進する。

#### ▶ 大学院の再編に加え、高校との連携を強化

グローバル教育に力を入れる近隣の高校と連携し、教育面での高大接続を検討。

## 注目！ 学生と教員が相互に理解を深める「オフィスラリー」

中京大学の国際学部は、国際学科と言語文化学科の2学科体制。高度な専門性を早期から養うため、学生は1年次に各学科で語学と基礎科目を学修したうえで、2年次から専修に分かれて専門教育を受け、3年次からゼミに所属する。学生は1年終了時に希望する専修を、2年終了時に希望するゼミを決めることになるが、ミスマッチを防ぐため、学生自らがアポイントを取って研究室を訪問し、研究内容について直接話を聞く「オフィスラリー」というしくみを設けている。1年生は春学期中に必ず3人以上の教員を、2年生は秋学期中に必ず自分が所属する専修の教員全員(言語文化学科は3人以上)を訪問しなければならない。

実施初年度はオンラインによる面談が主だったが、当初の目的以外の効果があったようだ。「2020年度入学者はコロナ禍のため、ほとんど大学に来ることができず、不安や孤独感を抱えていた学生も多かった。オフィスラリーはそうした学生に対するケアの時間としても役立った」(佐道学部長)。

学生と一定時間向き合って話をすることで、教員側も学生がどのような学びを求めているか知ることができる。全体的な学生の意見は学生アンケートでも把握できるが、それだけでは吸い上げられない学生の生の声を聞く機会として、今後もオフィスラリーを大事にしていきたいと言う。

### オフィスラリーのガイドライン(一部抜粋)

- 1年生は春学期中に必ず3人以上の教員を訪問する
- 国際学科の2年生は秋学期中に必ず自分が所属する専修の教員全員を訪問する
- 言語文化学科の2年生は秋学期中に必ず自分が所属する専修の教員3人以上を訪問する(授業を受けていない教員も積極的に訪問すること)
- ホームページで教員の専門や各専修の概要等の情報をあらかじめ熟読し、オフィスパワーで聞きたいことを明確にしておくこと